

パブリックコメントの結果及び対応の概要

1 実施方法

- 実施期間：平成27年6月15日（月）～平成27年7月14日（火）
- 閲覧方法：市ホームページ、田原市役所（市民課前情報コーナー、街づくり推進課）
赤羽根市民センター、渥美支所、中央図書館

2 パブリックコメント実施結果

- 3件の意見提出（提出者数：1名）

3 パブリックコメントへの対応

- 計画書の改定案そのものに対する意見ではなく、田原市の問題に対する意見・提案であるため、参考意見として取扱うこととし、都市計画マスタープラン（平成21年3月策定）の一部改定案については、原案どおりとします。

提出された意見と市の考え方

■計画書の内容に関する意見

No.	該当ページ	提出された意見	市の考え方
—	—	なし	

■その他(計画書に反映せず参考として取扱う意見)

No.	該当ページ	提出された意見	市の考え方
1	—	<ul style="list-style-type: none"> ●田原駅周辺への誘致テナントについて ・セントファーレ事業の反省を生かす ・誘致するテナントは、こういったパブリックコメントのシステムを活用し決定する ・商工会は閉鎖的である為、商工会の意見を取り入れると失敗します。 ・商店街は大阪の様なアーケードにし、雨天でも気軽に行ける様に、 	<ul style="list-style-type: none"> ・頂いたご意見は、三河田原駅周辺の新たな賑わいの核となる商業施設等の誘致の際の参考とさせていただき、原案どおりとします。
2	—	<ul style="list-style-type: none"> ●田原駅周辺への住居について ・高齢化が進むため、蔵王団地の様なシルバー団地の高齢者を移住させ、蔵王団地は若い世代が住む町とし、駅近は高齢者、郊外は若者世代というシステムを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は一部分の改定となっておりますが、頂いたご意見は、次回、都市計画マスタープラン全面改定時の参考とさせていただき、原案どおりとします。
3	—	<ul style="list-style-type: none"> ●コンパクトシティについて ・資料からはコンパクトシティの意味が読み取れないが、今後の人口減少、南海トラフの大地震に対応するため、標高が低い土地での新たな住宅地の開発は禁止し既存の標高が高い団地をスクラップ&ビルドしていくことで空き家や・シルバー団地の対策が可能です。(補助金を創設してください) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は一部分の改定となっておりますが、平成 21 年 3 月に定めた都市計画マスタープランにおいて、既にコンパクトシティの理念を定めています。 ・頂いたご意見は、次回、都市計画マスタープラン全面改定時の参考とさせていただき、原案どおりとします。